

令和3年度 和歌山市立高積中学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 吉川 豊

作成日 令和3年5月7日

和歌山市学校教育指針

- ◇ 確かな学力の育成
- ◇ 道徳教育の充実
- ◇ 健やかな体の育成
- ◇ 特別支援教育の充実
- ◇ 不登校・いじめ問題の解消
- ◇ 子供の安全確保の徹底
- ◇ 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- いじめや暴力を許さない子どもに育てほしい
- 地域の人材をもっと活用してほしい

【学 校 教 育 目 標】

心豊かで、たくましい生徒の育成

【めざす生徒像】

- ・ 自ら学ぶことができる生徒
- ・ 自ら考えて正しく行動することができる生徒
- ・ 心身ともに鍛え、努力できる生徒

前年度の学校評価

- 授業の工夫改善が進んでいる
- 地域との連携ができてきた
- 学校の様子が保護者・地域等にわかるようになってきている

生徒の実態

- 生徒は決まりを守っている
- 生徒は挨拶ができています
- 家庭学習の定着率がやや低い
- 粘り強さに欠けたり、自ら進んで実践する態度が十分でないところがある

重点目標

確かな学力の向上

- ◎ 学力課題を明確にし、指導方法の工夫改善を図る
- ◎ 家庭学習習慣の育成及び充実
- キャリア教育を通し、主体的に将来を見据えた進路選択を図る

具体的な取組

- 学力向上を目指して学びあいの授業づくりに努めると同時に学びのルールの定着を図る
- 授業の工夫、補充学習、家庭学習をセットにした指導を推進する
- 「和歌山の授業づくり3か条」を徹底させた授業を行う
- キャリア教育にかかわる学習を丁寧に行い、自身の将来像を見据えさせる

指標

- ・ 県学習到達度調査で各教科で県平均を上回る
- ・ めあてと振り返りを必ず授業で行う
- ・ 「家庭学習の時間を十分に確保している」を75%台に

豊かな心の育成

- ◎ 人権・同和および道徳教育を推進し、人権意識を高める
- ◎ 生徒指導方針に則り、組織的かつきめ細かい生徒指導と体制整備の充実
- 良好な仲間づくりの育成

- 特設授業を含め人権同和学習に組織的・計画的に取り組む
- 「あすを生きる」「希望のかけはし」等を活用し、道徳の授業の充実を図る
- 教職員全員が協力し、授業時、昼食時、清掃時、部活動時等の場を活用して、生徒指導理解に努め、方針に則った組織的かつきめ細かい生徒指導を実践する
- 定期的にあいさつ運動を実施し、教員も担当者を決め学年を問わず交流する

- ・ 学校評価アンケートで「学校生活はおおむね楽しい」が昨年度より増える
- ・ 「あすを生きる」「希望のかけはし」を活用率100%に
- ・ いじめの発生件数の減少

健やかな体の育成

- ◎ 体力向上を推進する
- ◎ 基本的な生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

- 運動部活動を通して、体力強化を推奨していく。また、昼休憩は積極的にグラウンドにて遊ぶように働きかける
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 避難訓練や交通安全指導を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」と学力の密接した関係性を啓発する
- ・ 運動部活動の加入率のアップ
- ・ 避難訓練、交通安全指導を定期的に行う

地域とともにある学校

- ◎ 家庭・地域との連携の充実
- ◎ 中学校区における小学校との連携を推進
- 地域の教育資源や人材活用の推進

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事を公開する
- 中学校区での小・小、小・中の連携を推進する
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

- ・ 学習評価アンケートで「家庭・地域は学校に対しそれぞれの役割を果たし、連携・協力ができている」を75%以上に
- ・ 中学校区での連携した取組を具体的に実践する

◎：特に重点的に取り組むこと